



# やす町

## 議会だより

第56号

(平成31年2月)



### もくじ

- 12月定例会 ..... 2
- 委員会活動報告 ..... 5
- 一般質問(13人が質問) ..... 6
- 定例会等の出欠日数一覧 ..... 19
- 議案等議決結果 ..... 20
- やす・リビング・リレートーク ..... 22

平成最後の八頭町成人式(東体育文化センター)

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会

議会、議会だよりなどに関するご意見、ご要望をお寄せください。

Tel.0856-72-3975 Fax.0856-72-2641

# 小中学校、未設置の全ての教室に エアコン設置

12月  
定例会

12月10日～12月21日

平成30年

第9回

## 総額3億6,009万円

### 「平成30年度一般会計補正予算（第6号）」を可決

12月定例会は10日から21日まで、会期12日間で行われた。

町長提出議案は14件あり、全てを可決した。議員間における処分要求が2件あり、懲罰特別委員会が設置され審議の結果、2件とも「陳謝」を決定。本会議の採決は1件を可決し被要求議員が本会議での陳謝、1件を否決した。

一般質問は13人の議員が登壇し、町政の諸問題についてたじた。

総務教育常任委員会視察研修におけるJR乗車について議長が謝罪

二度とこのような問題が発生しないよう、八頭町議会として、社会的、道義的責任を真摯に受け止め、全議員が改めて、「八頭町議会議員政治倫理条例」の本意を体し、信頼回復と町政発展のため、誠実に全力で取り組んでまいる所存です。今回の不祥事につきまして、重ねてお詫び申し上げるとともに、今後町民の皆様のため、町政発展のため、議会が健全で活発な議論の場となるよう、心新たに、身を引き締めてまいります。誠に申し訳ありません。

#### 補正予算

◇平成30年度補正予算（第6号）  
予算総額に歳入歳出

それぞれ4億3367万円追加し、歳入歳出予算総額を124億8895万円とするもの。

#### 【主な歳出】

- 小中学校管理運営費（小中学校のエアコン設置費）3億6009万円
- 地方創生拠点施設整備事業費（準Lab.の施設改修に係る経費）133万円
- 地域福祉センター運営費（八東地域福祉センターの施設更新に伴う工事請負費）388万円
- 農地農業用施設災害復旧費（麻生地域）6805万円
- 林道施設災害復旧費（奥野地域）1150万円
- 図書館管理費（郡家図書館エアコン更新）379万円

#### 質疑

- ①小中学校のエアコン設置は、普通教室の全てが対象になるのか。
- ②エアコン設置費の国の

補助金は3153万円だが、少ない気がするが。

③エアコン設置費と、9月定例会で積み立てた学校教育施設整備基金との関係について問う。

#### 答弁 吉田町長

- ①その通りである。
- ②補助基本額は3分の1と決定している。
- ③9月定例会で積み立てた整備基金は、郡家東西の小中学校の大規模改修に当てるため今回は通常の財政調整基金から取り崩したものである。

#### 賛成討論 森 亜紀子

指定文化財矢部家住宅は本町の貴重な財産である。常時公開は難しくても、学校で歴史や町の文化財に触れる場としての社会見学や、期間限定の観光地としての公開など活用方法の検討を望む。

#### 条例改正

◇八頭町税条例の一部改正  
県税条例の改正並びに

本町への控除対象特定非営利活動法人の指定届書の提出に伴い、町民税の寄附金控除の対象となる法人として、新たに特定非営利活動法人「十人十色」を指定するもの。

**指定管理者の指定**

指定期間はいずれも平成31年4月1日から平成34年3月31日まで。

**◇姫路公園**

（管理者）  
スローライフクラブ八頭  
会長 三浅保則

**◇八東ふる里の森**

（管理者）  
有限会社高田技研  
代表取締役 高田豊実

**◇船岡保健センター**

（管理者）  
社会福祉法人八頭町社会福祉協議会  
会長 桑村和義

**◇八東地域福祉センター**

（管理者）  
社会福祉法人八頭町社会福祉協議会

福祉協議会  
会長 桑村和義

**契約**

◇皆原頭首工災害復旧工事請負変更契約の締結

○契約金額  
（変更前）5184万円  
（変更後）5185万5120円

（増額）1万5120円  
○契約の相手  
東洋建設・竹内組特定建設工事共同企業体

代表者 東洋建設株式会社  
社代表取締役 森本悟

**人事**

◇財産区管理委員の選任の同意

任期満了（平成30年12月19日）等に伴うもの。  
（安部財産区）  
田中信一郎氏・増田宜規氏・内田義章氏

木原頼正氏・小林達雄氏  
尾崎士郎氏・西川裕史氏

**処分要求**

◇下田敏夫議員に対する

処分要求の件（要求者、岡嶋正広議員）  
12月10日の議会運営委員会では侮辱発言があり処分要求があった。

懲罰特別委員会の報告は「陳謝」だったが、本会議の採決は賛成少数で委員会の決定を否決。

◇高橋信一郎議員に対する処分要求の件（要求者、小原徹也議員）  
12月10日の総務教育常任委員会で侮辱発言があり処分要求があった。

懲罰特別委員会の報告は「陳謝」。本会議の採決は賛成多数で委員会の決定を可決。  
本会議で陳謝を行った。

**決議**

◇谷本正敏議長に対する不信任決議案の提出（提出者、高橋信一郎議員）  
予算を巡る紛糾の原因を作ったこと、秘密会への対応が安易だったこと、議会で不穏当な発言が見られたこと。以上が決議案の提出理由。

**質疑**

①秘密会の解除と住民公開の原則の判断を求める。  
②秘密会の決定は議長ではなく、常任委員会の総意。不信任の理由には不適當ではないか。  
③問題のすり替えでは。  
④不穏当な発言の恫喝を含め具体的な内容は。

**答弁**

高橋 信一郎  
①議長の秘密会に関する中立を訴えたのであり、公開の原則は結び付けてはいない。  
②秘密会について進んで発言したからだ。  
③総括を取り仕切る者として振舞ってほしかった。  
④議員の発言を遮ったりする発言は恫喝内容だ。

**賛成討論**

森 亜紀子  
町民不在の八頭町議会だと感じる。綱紀粛正をするなら議員定数の議論が先決だ。議会全体で早急に町民からの信頼回復に努めるとともに、議長には混乱の責任をしっかりと受け止めてもらいたい。

**反対討論**

奥田のぶよ  
混乱している議会運営について、今やらなければならぬことは、議員みんなで一致団結して固まっていきたい。議長1人が辞めることで解決する問題ではない。

**反対討論**

小原 徹也  
議長は議会の代表であるが、議会運営は執行部と議員の責務である。なお提出者は、処分要求を受けており、自らの責任を考えず、不信任決議は責任放棄であり認められない。

**反対討論**

柴田 秀之  
議会の混乱は議長だけの責任では無い。ここに座っている議員全員の責任だ。よって反対する。  
※賛成少数で否決

**反対討論**

坂根實豊議員  
議長を補佐するべき副議長が、自ら議長の不信任に賛成する態度は不信任に値する。  
※賛成少数で否決



平成30年  
第8回臨時会

11月30日

補正予算

◇平成30年度八頭町一般会計補正予算（第5号）  
歳入歳出の予算総額の変更はなし。

（歳出）

○職員人件費（人事院勧告に伴う職員給与等）

603万円

○教育振興費（八頭中学校駅伝全国大会参加費）

21万円

条例改正

◇八頭町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、11月28日、「一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律」が成立したことに伴い、勤勉手当の月数を1.85月、期末手当と合わせて年間4.45月とするもの。

◇八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、11月28日、「特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律」が成立したことに伴い一般職に準じて、期末手当の支給月を0.05月分引き上げ、年間3.35月とするもの。

質疑

この議案をなぜ職員と同時に提出したのか。また、提出の際に躊躇（ちゅうちよ）はなかったのか。

答弁 吉田町長

人事院勧告が出た場合の従来とは変わらない上程である。報道などを察するが、後の判断は議会ですべきだ。

反対討論

森 亜紀子

視察における一連の騒動を受けて、期末手当を引き上げるとは町民の理解を得られない。真摯（しんし）に反省しているならば、議員個々が反省の意を示

し信頼回復に努めるべきである。

反対討論

川西 聡

JRの件は、議員として日頃の研修や研鑽の不足が露呈したものだ。この議案は時期がずれても良いと思う。

我々議員は成果を出して挽回し内外の批判に 대응することであり、期末手当の倍率云々は論外だ。

契約

◇町道ホウキ線道路災害復旧工事請負契約の締結

6588万円

○契約の相手

岡島建設・中田組特定建設工事共同企業体

代表者 岡島建設有限会社代表取締役 岡島勝宏

○工期

平成31年3月29日まで

◇町道大江志子部線災害復旧工事請負変更契約の締結

○契約金額

〈変更前〉6102万円  
〈変更後〉

6961万8960円  
〈増額〉

○契約の相手

山陰・八田・一企工特定建設工事共同企業体代表者 山陰建設株式会社代表取締役 上田俊一

◇林道笹ヶ平線災害復旧工事請負変更契約の締結

○契約金額

〈変更前〉5054万4000円  
〈変更後〉

5129万4600円  
〈増額〉

75万600円

○契約の相手

岡島建設・松田組・松田建設特定建設工事共同企業体

代表者 岡島建設有限会社代表取締役 岡島勝宏

人事

◇鳥取県東部広域行政管理組合議会議員の選挙

柴田秀之議員が当選

（高橋信一郎議員の組合議会議員の辞職によるもの）



▲ 40回を迎えた八東新春マラソン&ウォーキング大会

# 先進地の諸実態を学ぶ！

## 総務教育常任委員会 調査視察報告

### 日程

平成30年10月18日(木)  
～19日(金)

#### 一、武雄市立図書館

##### ○目的

指定管理され運営されている実態を調査研修し本町の参考とする。

##### ○内容

平成18年度建設し、5年前にツタヤ図書が指定管理している。

365日、午前9時から午後9時まで開館。スターバックスも入館、喫茶しながら読書ができる。子ども図書館、歴史資料館を併設しイベントも多数開催する。

年間利用者は25万人でイベントは1500回。

#### 二、武雄市役所

##### ○目的

タブレットを活用した武雄式反転授業の説明を聞き本町の参考とする。

##### ○内容

タブレットを家庭持ち帰り動画を活用した学習を行うことで児童生徒がより意欲的、主体的に授業に望める。教員が事前に実態を把握して授業に生かせる。

##### ○まとめ

図書館の指定管理の導入による効果が実態として分かった。本町に参考になる事例だった。

タブレット導入はコミュニケーション能力の育成型スキルとして今後本町の学校教育への必要性を強く感じた。

#### 三、福岡県東峰村

##### ○目的

2017年7月5日の九州北部豪雨により、甚大な被害を受けた東峰村で東峰村ツーリズム協会会長の小野豊徳氏に被災の状況、復興の取り組みを聞き、その実態を研修



▲ 被災状況の説明を受ける (東峰村)

##### し参考とする。

##### ○内容

土石流で宿泊施設が倒壊流失した現地や橋に流木が堆積し被害が拡大した現地などを視察した。緊迫した当時の状況や復興では、土砂や流木置場は農地に返すという契約で2年間の無償提供にし

てもらうなど復興のポイントの説明を聞いた。

##### ○まとめ

平時より、地域防災対策の必要性が重要だ。災害情報・避難支援などは一元管理が必要だ。本町の災害に対しての心得を改めて考えさせられた研修だった。

## 特別委員会の報告

### 【議会改革推進調査特別委員会】

12月3日小委員会の進捗状況を確認しました。

### ◎議会だより小委員会

議会広報モニター要綱を検討し実施に向けて推進調査を進める。

### ◎議会報告会小委員会

8月に実施した報告会をまとめ今後の方向性を協議する予定。

### ◎可視化小委員会

機械導入などの検討をしたが、もつと広域に情報を集め精査する必要がある。

### 【地方創生事業検証調査特別委員会】

10月25日、総務部会が隼Lab.でサテライトオフィス開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーション創造地域の創設の現地調査を実施しました。



▲ 地方創生事業検証調査特別委員会 (隼Lab.)

# 陳情の審査

## ○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情	基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会 芳沢 あきこ	国政の安定をすることが先であり退陣を求める時期ではない	
待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	保育行政は施設、処遇、財政等、自治体に大きな責任があり、また国も子育て支援に取り組んでいるため	

## ○継続審査としたもの

件名	提出者	理由	備考
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	沖縄と連帯するとつとりの会 共同代表 石田 正義 他2名	なお慎重審査を要する	

ここが聞きたい  
13人が一般質問しました。

## 一般質問

※質問や町長などの答弁は、質問した議員の原稿に基づき掲載することになっており坂根實豊議員の原稿は未提出であるため掲載していません。

テーマ	質問事項	質問者	頁
産業・観光	イベント時の駐車場	奥田	8
	農林業及び施設整備、全般事業	小原	10
	地方創生とインバウンド戦略	下田	12
	交流人口増と観光政策	小倉	14
	農業の振興策	小林	16
教育・子育て	八頭町教育ビジョンの推進	奥田	8
	変化する教育環境	尾島	13
	「教育勅語」の一部分を肯定的に評価すること	川西	15
	ひきこもり支援	中村	17
福祉・医療	熱中症対策としてのエアコン設置	川西	15
	支えあいの地域福祉	中村	17
防災・安全	地域防災計画の推進	奥田	8

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	県外視察研修での事例を受けて	高橋	7
	人権教育・啓発の推進	岡嶋	9
	公共交通（町営バス事業）における路線のあり方	岡嶋	9
	コンビニエンスストアで元気なまちづくりを	岡嶋	9
	コンビニ	小原	10
	人権施策	森	11
	事業の進捗状況及びその情報の発信	森	11
	村誌編纂こと城山遺跡誌	坂根	
	近未来の本町の姿	尾島	13
	これからの八頭町の課題	小倉	14
	八頭町住民投票条例施行規則の改正	川西	15
	公共施設の民間活用・指定管理	栄田	18
	八頭町の公共交通	栄田	18
	町営ホッケー場の建設	栄田	18



高橋信一郎 議員

教育環境

# ICTを活用した教育を取り入れるか

## 教育長/活用の仕方を検討したい

質問

知識の伝達だけでなく映像を見せた方がわかりやすい。ただ、途中の理屈を読み解く力が養われるかどうかは疑問だ。

途中のプロセスを頭の中で考える力が発達するのか衰退するのか。結果を求める情報の収集は分かりやすいが、ひよっとしたら自由自在な発想能力を奪って行くのではないかと考える。教育長の見解は。

答弁

荻田教育長  
すぐ答えにたどり着けるという意味では便利な反面、いわゆる中抜けになってしまふという危険は当然あると思う。

従って、ICTの機器が全ての物事を解決する道具とは思っていない。本や活字に親しんでもらう環境をぜひ作って行かないといけない。

質問

近年、読書・活字離れとか言われて久しい。佐賀県武雄市の学校では、



▲ 佐賀県武雄市図書館の館内の一画

ICT教育を取り入れ、片や活字離れを防ぐために図書館運営に力を入れていた。  
また、空き施設を利用した地域おこしと言えば福祉施設や企業誘致。視線を変えて教育環境の整備をしてもと思うがどうか。

答弁

荻田教育長  
空き校舎の活用として、書籍販売店や喫茶店と組み合わせると思うが、一般企業では採算ベースに乗ることが必要。本町ではそこを十分検討することが必要だ。

答弁

吉田町長  
今の若い人は総体的に活字離れになっていると思う。本町には偉人の方が多々いらつしやる。いろいろと文化的なものもある。そうした施設が出来たらとは考えている。

質問

今の避難所は、地域に関係なくそこに勤務する職場の上司(課長など)が責任者となっている。災害が起こった場合に責任者が現場に出られない事態も考えられるが、人の配置はどうか。

**災害対策**  
**避難所の責任者の配置は**  
**町長/総体的に管理職で当たっている**

一次配備は防災室の職員で、三次配備ともなれば、ほぼ概ねの職員を配置することになる。大きな災害の時には臨機応変な対応を取る必要がある。

答弁

吉田町長  
本町の場合、一次配備・二次配備・三次配備と段階的にしている。

防災

# 避難行動要支援者避難支援計画の進捗状況は

## 町長/来年から本格的に取り組む



奥田のぶよ 議員

質問

「八頭町地域防災計画」の推進について伺う。  
①福祉避難所の要支援者受け入れ対応は。  
②避難行動要支援者避難支援計画の進捗状況は。  
③防災の啓発活動は。  
④避難所の無線LAN、Wi-Fi設置状況は。

答弁 吉田町長

①郡家保健センターに保健師が待機し、いつでも開設できる体制を整えている。  
②来年から本格的に取り組む予定だ。  
③区長、民生児童委員の会で災害時要支援制度、支え合いマップの説明をし、行政懇談会で防災対策の説明を行った。  
④中央公民館・郡家保健センター・中央人権啓発センター・男女共同参画センター・八東体育文化センターの5カ所に設置している。

質問

指定避難所の福祉スペースの対策は。

答弁 吉田町長

必要なので対応したい。

質問

法律で義務付けされた避難行動要支援者名簿の作成は。

答弁 吉田町長

名簿はある。同意ものは区長へ渡している。



▲ 防災訓練のグッズ展示コーナー（男女共同参画センター）

質問

教育ビジョンについて伺う。  
①ICT教育の推進は。  
②八頭高等学校との連携推進の今後は。  
③町内体育施設利用者の要望の処理や回答は。

答弁 藪田教育長

①平成27年度からICT化推進協議会を立ち上げ推進計画を作成した。  
②体育コースの活動や吹奏楽部の演奏など地域のつながりを大切に連携している。  
県外優秀アスリート支援事業では3人の生徒が町内に下宿してホッケーの活動をしている。  
③事務局内で情報を共有し、対応可能なものから処理している。

質問

アスリート事業の下宿を探すのは限界がある。寮の整備の考えは。

答弁 藪田教育長

寮があれば非常に安心だ。寮があればいいと思う。県は地元がどう動くかと常々言われている。どういった形がいいのか模索したい。

※その他の質問  
イベント時の駐車場について

### 教育ビジョン

## 小中学校への タブレット導入は

## 進めていく必要がある



岡嶋 正広 議員

人権教育・啓発

# 基本計画名称が変わったが

## 町長/より実行性のあるものとして作成

質問

①「部落差別撤廃人権擁護基本計画」が、「人権を尊重するまちづくり基本計画」へと名称が変わった。変えたことによる成果をどう捉えるか。  
②人権尊重まちづくり講演会及び部落解放研究会における事業の成果と課題をどう考えるか。評価と検証の方法は。  
③平成28年度に施行された3つの解消法について、国及び県からの通達などあるか。また法律に沿った施策は考えるか。  
④学校教育における同和問題解決に向けた取り組みについての考えは。

答弁

吉田町長

①単なる名称変更ではなく、より実行性のあるものとして作成したものである。

実施計画に具体的な目標値と取り組み内容を明記しており、各担当課で年度ごとの効果検証を行い、改善につなげている。  
②講演会は人権教育推進協議会の啓発推進部、研究集会は同じく社会教育

部で効果検証及び協議検討を行っている。  
初めての参加や、障がい者の参加が増加した。課題として参加者が横ばいであり内容や方法を協議・検討している。

③指導通達はない。昨年度から県の協議会の分科会に参加している。相談事業は各センター及び人権擁護委員、行政相談員により実施。

教育啓発については、地区人権教育推進委員会を中心に学習を重ねている。

答弁

菟田教育長

④これまで培ってきたものを大切にしながら、効果的な学習を考えたい。



▲ 町内を走るさんさんバス

# さんさんバス 若桜谷南岸線の運行は 町長/十分なる検討が必要

質問

若桜谷南岸線、八東駅・日下部・隼駅・西谷・志子部・船岡を経て郡家駅までの間、さんさんバスの運行はできないか。

答弁

吉田町長

バスの新規購入が必要となる。運転手不足というところもある。路線新設は十分なる検討が必要。

質問

船岡地域通過のバスルートとしてAコープ経由の運行はできないか。

答弁

吉田町長

道路が狭く、10人乗りのバスに変更すれば乗り入れ可能だが、大江線の乗客は増加傾向にあり、乗車できない方が出る可能性がある。  
運転手不足への対応、必要性を十分検討し路線を決定していく必要があると考える。

※その他の質問  
コンビニエンスストアで元気なまちづくりを

農業施策

ビジョンは

町長/計画の取り組み中だ



小原 徹也 議員

質問

① 本町の基幹産業の農業の個別農家、中でも水稲は60〜70代か。  
 ② 大規模農業者より、個別農家の方が多いが。  
 ③ 川の堰が壊れ、高齢化・人手不足のため圃場に水が取れないが。  
 ④ このような状況で、「持続可能な力強い農業」が実現できるのか。  
 ⑤ 町に要望したが1戸の農家に対してできないか。  
 ⑥ 農業ビジョンで「魅力ある農業・儲かる農業」とはブランド米を作る事なのか。  
 ⑦ 「基幹産業である農業」と言っているが。  
 ⑧ 関西から夢を追い来た八頭町ネギ生産者が、漁業に移り離農した。「来ん方がよかった」と言った。何か問題があるのではないか。  
 ⑨ 観光農業や農泊の目的は地域に生活している住民の所得向上だ。夢と志とは事業や取組を行う過程で住民に明確な説明をすることが必

要では。

答弁 吉田町長

① 農業生産者の高齢化は承知している。  
 ② 認定農業者は、27人。  
 ③ 先般、区長会で聞いた。  
 ④ 区長会で、「一緒に考えて考えたい」と答えた。  
 ⑤ 1戸の為とは言っていない。  
 ⑥ 本当に申し訳ないが、私は「農業は儲からない」というのが一番だ。  
 ⑦ なかなか米だけでは儲からない。  
 ⑧ いろんな課題があったと思っている。その中で、海の方に魅力を持ったと思う。  
 ⑨ 町民が豊かになってもらうのが一番だ。所得向上ということは、全体にといいことにはならない。取り組みは、広報や会合でお話します。

コンビニ

進捗状況は

町長/視察など検討している

質問

前回は質問した、船岡地域にコンビニを検討はどうか。  
 今生活する上でコンビニ

二の役割は重要だ。単に買い物だけでなく税金・公共料金の支払いやATM防犯などコンビニ事業者も、人口減少地域の出

店は難しい中、新たな形の店舗を行政に提案しているが、考えと進捗状況を伺いたい。

答弁 吉田町長

利用者からの提案を聞いている。現地視察を含め、4度協議をした。住民の思いが判断材料だ。



▲ 先進的なコンビニ店舗の様子



森 亜紀子 議員

### 人権施策

## 視点を变えた取組みは

### 町長/町民と一緒に考えたい

**質問**

本町の各集落で人権問題学習会が実施された。現実にはまだ課題が多い。人権施策・教育を伺う。

① 人権啓発推進の中で効果的なものは。

② 保小中の系統立った人権教育の柱は。

③ 「差別に負けない」教育から「気づく・見抜く・しない」教育への検討は。

**答弁**

吉田町長

① 講演会・各集落を対象に人権問題学習会を開催。広報やずに人権の広場の紙面を掲載し、人権啓発カレンダーや文集の作成などの事業を土台に人権問題の解決に取組みたい。

**答弁**

藪田教育長

② 保育所では就学までにつけたい力を心情・意欲・態度の観点で、小中学校では身につけたい資質・能力を技能・態度の観点で整理している。

③ 県と連携しさまざまな意見ももたらして本町の進め方を検討したい。

**質問**

研修会を若い人が集まる場所とするなど視点を变えた取り組みの検討は。

**答弁**

吉田町長

効果的な学習会を皆さんと一緒に考えたい。

**質問**

同和教育の再構築は。

**答弁**

藪田教育長

時間を生む方法など共通認識して探りたい。

**質問**

町民が知りたい情報を発信できているか伺う。

① ホッケー場の今後は。

② 旧大江小学校の農泊事業、旧船岡中学校の企業誘致の進捗状況は。

**答弁**

吉田町長

① ホッケーを核としたまちづくりを進め、施設整備を検討したい。

② 旧大江小学校は校舎・体育館・グラウンドを貸付契約の締結をした。

旧船岡中学校は校舎改修・下水整備の設計管理業務を委託。今後のリニューアル製造免許の取得や設備導入などの検討に入る予定だ。

## 事業の進捗状況

### 意見を聞く場は

### 教育長/設ける必要がある

**質問**

町民の意見を聞く場を設ける予定は。

**答弁**

藪田教育長

設ける必要がある。

**質問**

全国大会、国体ができる施設は要るのか。

**答弁**

吉田町長

国体が開催されればホッケーを誘致したい。前提として全国大会ができる規模のホッケー場が必要だ。11人制のコート。一面是非とも整備したい。

**質問**

9月以降ホッケー場の測量設計は。

**答弁**

藪田教育長

測量設計の部分はその時点で完了。クラブハウスは止めた。途中やめ。



▲ 住民説明会（大江地区公民館）



下田 敏夫 議員

地方創生と  
インバウンド

## 戦略は

### 町長/施策や観光ビジョンの 実現に努める

**質問**

2020年は東京オリンピック、2025年には大阪万博が開催される。

国は、観光立国を目指し2020年には4000万人、2030年には6000万人の訪日客を目標としている。訪日客の消費金額は一人15万円ともいわれ、2020年8兆円、2030年には15兆円を目標としている。

観光は産業であり、本町としても取り組む課題であり、数ある自治体の中で本町を選んでもらうための努力が必要だ。

人口減少対策、高齢化が進む本町が生き残るためには、地域内のものを地域外に売ること。

地域外からの来訪者、観光客、または移住者を増やすことによる地域内での消費拡大が必要不可欠であり、観光による地域経済、産業の活性化が最重要課題である。

交流人口の増加による地域活性化を図る上で、

今後インバウンドの取り組みは、避けて通ることができないと考えるが。

**答弁** 吉田町長

東京オリンピック、大阪万博が決定され訪日観光客は、現状よりさらに増加する。本町としても観光を産業として捉え施策を行う。

インバウンド事業を行うだけでなく民間業者や、地域の方々とも連携を取りながら推進し、多くの外国人に来てもらいやすい観光環境の整備に努める。外国からのお客様に対応できるように、ハード・ソフトの両面から対応を検討する。

若桜鉄道は、八頭若桜谷の有力な観光資源であり、鉄道を活用した観光コンテンツは日本人観光客だけでなく、外国人旅行者にも喜ばれるものだ。

八頭町観光ビジョン・アクションプラン実行委員会とも協議、検討しインバウンド施策や観光ビジョンの実現に向けて努

めて行く。

**質問**

鳥取県は11月13日に、2033年第88回国民体育大会開催の要望書を提出され大筋認められる方向だが、本町として国体開催時にはホッケー競技の主会場として手を挙げ

**答弁** 吉田町長

ホッケーのまち八頭町とすれば、そういったホッケーの主会場に手を挙げさせていただく。



▲ 活用が期待される八頭号



尾島 勲 議員

近未来の  
本町の姿

# 今時点で成すべき施策・手段は

## 町長/総合計画に SDGsを取り入れる

質問

ソサエティ5.0 F O  
r SDGsを取り入れ、  
どのような町を形成する  
のか。

- ① 公共交通
- ② 医療・介護・福祉
- ③ 農林業
- ④ 災害対策
- ⑤ 総合計画・総合戦略

答弁 吉田町長

①自動運転で、誰もが快  
適で活気に満ちた質の高  
い生活が出来るよう公共  
交通の充実を図る。

②遠隔診療で電子カルテ  
を使い、質の高い診察が  
受けられ、経済負担の低  
減、最適な医療介護の提  
供ができ、患者の負担軽  
減に役立つ事を期待す  
る。

③スマート農業加速化実  
証プロジェクトの結果を  
参考にし、検討する。

④新たなレジリエンス災  
害情報システムが構築さ  
れた折には、有益に活用  
し防災・減災に努めた  
い。

⑤来年度策定予定の総合  
計画の後期計画にSDG

sを取り入れながら検討  
する。

質問

①RPA（ロボティク  
・プロセス・オートメー  
ション）の導入を提案す  
るが。

答弁 吉田町長

どのような内容なのか  
調査する。



▲「持続可能」な村を目指して（花原神社のしめ縄づくり）

### 変化する環境 教育

今やらなければ  
ならないことは  
教育長/着実に環境整備を  
図る事が最重要課題だ

質問

本町の教育現場の近未  
来、2030年〜204  
0年を念頭に、今やらな  
ければならないことは。

答弁 藪田教育長

ソサエティ5.0バー  
ジョン3.0に示されて  
いる学校の形態は、現状  
打破と言っても過言では  
ない。

従来型の学校教育を見  
直さなければ対処できな  
い時代を予想しないこと  
は、今の教育行政を進め  
る者として怠慢である。  
私も今成すべきこと  
とは、近い将来を見越し  
て備えることにはかなら  
ない。引き続き環境整備  
を図ることが最重要課題  
だ。

質問

エドテックに対し、す  
ぐにでも着手すべき課題  
をどうとらえているか。

答弁 藪田教育長

特別支援プラス病室と  
教室を繋ぐ遠隔授業、そ  
ういう取り組みだ。

質問

教育の中でSDGsに  
取り組む用意はあるか。

答弁 藪田教育長

学習指導要領の中に触  
れてあり、準備してい  
く。

人口減少対策

# 少子・人口減の教育体制は

## 教育長/人数を見ながらの 対策する



小倉 一博 議員

**質問**

人口減少と高齢社会が進行する中、本町の近未来への対応を伺う。

①単身高齢者や二人居り高齢者の増など、集落の高齢化が急速に進んでいる。支援体制をどう想定されているのか。

②少子社会が進行、人口動態を見ると近いうちに児童生徒数が合併時の半分になる。今後の教育体制は。

③社会環境が変わる中、地域の活性化や社会教育のあり方は。

**答弁**

吉田町長

①家族や集落の支えあい相対的に低下している。

地域福祉計画を策定し、地域の福祉推進組織・まちづくり委員会の設立と拠点施設の整備を進めて来た。本年第2期の計画を策定、国の方向も見ながら、早期に全14地区でまちづくり委員会を設置したい。

**答弁**

藪田教育長

②4年後に町全体で小学生が713人、中学生が395人になる。職員は若干減るが現行の教育体制が維持できる。児童・生徒数は予測可能であり、人数を見ながら必要な対策をする。

③少子高齢化による人口減少など、社会の変化を背景に様々な問題が起きている。

人材の育成、確保、人々が集い活動する場の整備、住民同士や団体を繋ぐネットワークの構築などの体制づくりが求められている。

地域住民に積極的に関わりながら地域の人材や団体の育成を行う必要がある。

**質問**

①地域との関わりが減って子どもたちの社会性が育ちににくい。子どもたちにとって大人社会とのかわりは大事な部分だ。地域の中に子どもたちを引き込み、地域をいかに子どもたちに伝えていく

のか教育委員会の考えは。

②人が減り、地域に元気がなくなる。地域の活性化には社会教育の推進が大きな原動力と思っている。社会教育団体の育成や地域のコミュニティを中心にした社会教育の取り組みは。

**答弁**

藪田教育長

①時代に合った地域交流を考える必要がある。

帰って来る人材の育成ということも大きな課題だ。

②地域コミュニティは、小さい範囲が事業化しやすい。一つのモデルケースとして取り組むという考えもある。

※その他の質問  
交流人口増と観光政策について



▲ 地域と子どもの交流



川西 聡 議員

住民投票

# 八頭町住民投票条例施行規則の改正をしては

## 町長/条例との整合性に欠け、改正は不適當だ

**質問**

「八頭町住民投票条例」の目的は、住民投票の実施に関する手続きなどの必要な事項を定めることにある。

第2条で「自治基本条例」に規定する町政全体に関する重要事項とは、町が行う事務のうち、町民にその賛否を問う必要があると認められる事案であつて、町及び町民全体に直接の利害関係を有するものをいう」とある。

「住民投票条例施行規則」には、住民投票実施請求代表者証明書交付申請書の交付が必要とされ、請求代表者に対し補正を求める内容を規定している。

規定の(一)では、「住民投票実施請求書に記載された住民投票に付そうとする事項が、住民投票条例に規定する町政全体に関する重要事項に該当しないとき」とある。

しかし、「住民投票条例」に規定されている「適用除外」の内容以外で

あれば、請求代表者に補正を求めることなく、代表証明書を交付するように規則を改正するべきだ

**答弁**

吉田町長

「自治基本条例・住民投票条例」の対象は町民全体に関する重要事項だ。条例との整合性に欠け、規則の改正は不適當。

**質問**

本年7月から、生活保護世帯へのエアコン購入費用の支給が、一定の条件に適合すれば可能だ。条件の第1は、「生活保護開始時に最低生活に直接必要な家具什器類の持ち合わせがないとき」だ。その他の条件を見ても、殆どの生活保護世帯の人が制度に該当せず救済されない。

**答弁**

吉田町長

本年4月1日以前からの生活保護世帯については、毎月の保護費のやり繰りの中で購入費用を賄うこととされている。そのため必要に応じて家計管理への助言や社会福祉協議会の生活福祉資金を

### エアコン設置

## 生活保護世帯への設置時における助成を

### 町長/考えていない

**質問**

紹介している。また、夏季には毎年担当のケースワーカーが扇風機を含めた冷房器具の所有状況を確認し、世帯状況を踏まえて助言をしている。町独自の施策は考えていない。

**答弁**

吉田町長

基準の緩和を踏まえての考えだ。 ※その他の質問 「教育勅語」の一部分を肯定的に評価することについて

**質問**

どのような場合に助成に踏み切るのか。



▲ 設置の助成が求められるエアコン (八東地区住民より提供)



小林 久幸 議員

農業振興

# 「神兔」の販売戦略は

## 町長/関西圏を中心に販路開拓

質問

本町では平成27年の3月に第2次総合計画を策定、さらに9月には八頭町総合戦略を策定し、農林業を初めとする地場産業の競争力の強化と担い手の確保に取り組んでいる。本町における農業を取り巻く状況は農業従事者の減少、農業所得の減少、極めて深刻な状況だ。農家からは農業所得の減少に悲鳴が上がっている。

①早生柿の中で高品質を誇る「輝太郎」の栽培面積と販売戦略は。  
②野菜や柿などの園芸品目の振興を図り特産品の育成とあるが、対象作物は。  
③水稲から園芸品目への転換と加工業務用野菜などの供給体制を整備する事業計画は。  
④担い手の育成などを目指して、地域振興プランを作成とあるが、実現に向けた取り組みは。  
⑤町は、農家にとりよる6次産業化の事業を求めているのか。

⑥ブランド米「神兔」の販売額と販売戦略は。

答弁 吉田町長

①29年度「輝太郎」の栽培面積は約339アールで増加傾向にあり、東京への出荷を主として関西、中四国へ出荷している。

②本町の推奨作物はJAいなばの推奨作物である白ネギ・アスパラ・ブロッコリー・ハト麦を対象作物としている。

③八頭町農業再生協議会が作成した水田フル活用ビジョンにおいて園芸品目の団地化などを推進し、野菜の産地化に向けた取り組みを支援している。

④農家の農業所得の向上と農業経営の安定を図ることで魅力ある農業、儲かる農業となり生産面積の拡大や担い手の育成につながる取り組みを進めている。

⑤農家の皆さんの所得向上につながる取り組みを求めているのか。

個人農家の補助事業を活用した6次産業化への取り組みは、相談をしてもらい、事業実施に向けて検討をしていきたい。

⑥販売戦略は、おいしい米づくりを徹底する中で、全国の米コンテストに積極的に出品したり、関西圏を中心とした販路開拓により、ブランド米としての知名度が上がるように努めている。販売額はおおむね400万円余り、数量は234俵だ。



▲ 静かに整理される果樹園



中村 美鈴 議員

支えあい  
地域福祉

重点課題の取組み状況は

町長/効果が現れ期待している

質問

平成30年6月第2期八頭町福祉計画・地域福祉活動計画が策定され、期間は6年間だ。重点課題を問う。

- ①まちづくり委員会の設置と機能強化で、設置の9地区の参加人数と成果は。またカフェはどうか。未設置5地区の動きは。
- ②福祉学習プラットフォーム機能の確立は。
- ③共生型総合相談体制の構築は。
- ④権利擁護相談体制の確立は万全か。

答弁

吉田町長

- ①参加者数は7815人で、カフェは8839人。効果は体が軽くなり、楽になったと聞いている。
- 未設置地区の船岡は、準備委員会を開催。他4地区は検討会を開催したが、区長の参加が半数以下だ。
- ②具体的な作業に入らず、年度内に工程計画を立てたい。
- ③東郡家地区と下私都地

区に生活支援相談員を配置中で、他地区でも行いたい。

④今年度より福祉相談支援センター「ほっと」に集約を進め、強化を図る。

質問

そばづくり体験を視察したが、収入源にならないか。

答弁

吉田町長

実際は難しいが参加者の励みになる。



▲ みんなで手をつなぎまちづくり

質問

昨年6月定例会に、ひきこもり対策を質問したが、再度ひきこもり支援を問う。

- ①その後の対策は。
- ②不登校(小・中・高校)からひきこもりになる

答弁

吉田町長

①国で実態調査が始まり、鳥取県で15歳から59歳まで685人、本町で43人。今年度から支援調整会議を設置し方針を協議した。

ケースがあると思うが、不登校の現状は。

答弁

藪田教育長

②中学校で出現率がやや高い傾向だ。28年度をピークに減少し、昨年度を下回る見込みと思っている。スクールソーシャルワーカーの配置から3年目で予防も含め早期対応をしている。ひきこもりの生徒は現在はいない。

質問

ネットで県の不登校の生徒が多いと聞いているが、県の保育の現状も出ていた。人格形成の基礎を培う幼児期の教育の充実をさせる。本町に保育指導の専任職員の配置ができていくか。

答弁

吉田町長

1人配置している。

ひきこもり  
支援

その後の対策は

町長/今年度からひきこもり

支援調整会議を設ける



柴田 秀之 議員

公共施設の  
民間活用

# 老朽化の進行は

## 町長/適切な維持管理だ

**質問**

佐賀県武雄市立図書館へ視察研修に行った。

5年前にツタヤ書店が指定管理をし、居心地の良いいつでも利用できる図書館を目指し、365日午前9時から午後9時まで館内の本、書店の本を、コーヒーを飲みながら読むことができる。

①本町に3館の図書館がある。施設の老朽化、利用者の減少など、併設維持管理は難しい。本館1、分館2体制で本館の充実を図るべきだ。

②民間活用として、図書館の指定管理を検討する時期ではないのか。

**答弁** 吉田町長

①今後、図書館のあるべき姿や、体制について検討する必要がある。

②図書館のスタイルも多様化が現状だろう。慎重に考える必要がある。

**質問**

図書館に自習コーナーを設けて中高生の利用が増えた。町報に図書館川柳コンテストが掲載、使用状況にとらわれない柔軟な発想で新しい企画の推進は。

**答弁** 吉田町長

柔軟な発想、新しい取り組みも必要だ。利用率の向上に向けて取り組む。

**質問**

建設は、町内で大きな議論だ。建設費は4〜5億円。「ホッケーの町だ、八頭中学校の子どもたちの未来の投資だ」とあるが、費用対効果の問題だ。専用ではなく多目的施設

### ホッケー場建設

町民に分かりやすい利用計画を  
町長/理解を得たい

だとの説明だが、中学生の使用時間、GGの使用

近隣の集落の使用、土日の対応も含めて何の利用計画も示されていない。

①建設費に対する効果は。②特例債の償還計画及び金利は。③多目的な利用計画を示しては。④他の生徒への投資、機会均等は。

**答弁** 吉田町長

①本町に来て知ってもらえることが効果となる。

②年利0.5%、元利償還金の70%が交付される。

③八頭中学校は放課後の利用、GGや陸上競技、近隣集落の運動会などに活用。

④他の部活と競合せず施設を利用できる状況だ。

**質問**

町民にわかりやすい利用計画、将来計画、町長として熱意を示した十分な説明が必要だ。

**答弁** 吉田町長

町民に理解を得ない限り前には進めない。熱意をもってあたる。

※その他の質問  
八頭町の公共交通について



▲ 多様な利用が期待される町立郡家図書館

# 平成30年（1月～12月） 定例会等の出欠日数一覧

## 【定例会・臨時会】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	谷本 正敏
第1回臨時会(2/15)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第2回定例会(3/5～23) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													
第3回臨時会(5/30)	出	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠				1									
第4回定例会(6/7～20) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													
第5回臨時会(7/20)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第6回臨時会(8/6)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第7回定例会(9/4～21) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													
第8回臨時会(11/30)	出	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠													
第9回定例会(12/10～21) ※本会議5日間	出	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠													

## 【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会】(所属していない委員会は空欄となっています。)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
委員会名	奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	谷本 正敏
議会運営委員会(29回)	出	29		29		29		5※		29	24※	29		
	欠													
総務教育常任委員会(17回)	出	17	17					17		17	17			17
	欠													
産業福祉常任委員会(13回)	出			13	12	13	13		11			13	13	
	欠				1			2						
議会広報常任委員会(14回)	出	14	14		13	13	13			14				14
	欠				1	1	1							
議会改革推進調査特別委員会(7回)	出	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	
	欠											1		
予算・決算に関する調査特別委員会(23回)	出	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	欠													
地方創生事業検証調査特別委員会(2回)	出	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
	欠											1		

※委員交代によるもの

# 議案等議決結果

## (第8回臨時会・第9回定例会)

○全会一致で可決・同意したもの

議案等 番号	件名	議案等 番号	件名
<b>第8回臨時会</b>			
95	町道ホウキ線道路災害復旧工事（30年災第331号）請負契約の締結	102	平成30年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
96	町道大江志子部線災害復旧工事（29年災第195号）請負変更契約の締結	103	平成30年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第2号）
97	林道笹ヶ平線災害復旧工事請負変更契約の締結	104	平成30年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第2号）
98	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正	105	平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）
100	八頭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	106	平成30年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第2号）
101	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第5号）		
<b>第9回定例会</b>			
107	八頭町財産区管理委員の選任	115	平成30年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
108	鳥取県町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合理約の変更	116	平成30年度八頭町簡易水道特別会計補正予算（第3号）
109	八頭町税条例の一部改正	117	平成30年度八頭町公共下水道特別会計補正予算（第3号）
110	姫路公園の指定管理者の指定	118	平成30年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算（第4号）
111	八東ふるりの森の指定管理者の指定	119	平成30年度八頭町介護保険特別会計補正予算（第3号）
112	船岡保健センターの指定管理者の指定	120	皆原頭首工災害復旧工事請負変更契約の締結
113	八東地域福祉センターの指定管理者の指定		

## ○賛否の分かれたもの

議案等 番号	議席番号 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	結 果
		奥田のぶよ	川西 聡	小倉 一博	小林 久幸	森 亜紀子	中村 美鈴	岡嶋 正広	坂根 實豊	小原 徹也	栄田 秀之	高橋信一郎	下田 敏夫	尾島 勲	
第8回臨時会															
99	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	可決
第9回定例会															
114	平成30年度八頭町一般会計補正予算（第6号）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
陳情4	沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	継続 審査
陳情6	「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採 択
陳情7	待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×	不採 択
動議	谷本正敏議長不信任決議について日程に追加し直ちに議題とすること	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	否決
動議	尾島勲副議長不信任決議について日程に追加し直ちに議題とすること	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	否決
処分 要求	下田敏夫議員に対する処分要求の件	×	○	○	×	×	×	○	-	○	○	×	- ※1	×	否決
処分 要求	高橋信一郎議員に対する処分要求の件	×	○	○	○	×	×	○	-	○	○	- ※1	×	×	可決
決議2	谷本正敏議長不信任決議	×	×	×	×	○	×	×	-	×	×	○	○	※2	否決
決議3	尾島勲副議長不信任決議	×	×	×	×	×	×	×	-	○	×	×	×	- ※1	否決

賛成、同意「○」、反対「×」、議場退席「-」で記載。

議案の採決は、谷本正敏議長を除く13人で行う。

※1 直接利害関係者であるため、除斥につき退席されたもの。

※2 議長交代につき採決に加わらなかったもの。

# 河村 竝也とゆかいな仲間たち

経過成り立ち

平成15年から大江で個人個人がミツバチ（日本ミツバチ）の飼育を始めました。その後、平成27年、日本在来種ミツバチ愛好会を作りました。名前は、『河村竝也とゆかいな仲間たち』3名で取り組んでいます。

取り組みのきっかけは

ミツバチの役割です。この自然界すべての植物の交配を助ける、ミツバチがいないと植物や木々に花が咲き実が成ることが十分できない。

自然界への思い

ミツバチは『自然界の贈り物』として蜂蜜を人間に与えてくれる。人の肌やアトピーなどが改善されるとか、人への恩恵も大きい。

今、害獣と言われる猪や鹿も自然界の役割はあり、山に葛という植物がある。この葛の根を猪が食べ、山の秩序を保っている。鹿も同じ。大事なことは調和で、共生になり害にもなる。

大江に想い

「カジカカエル」は清流にしかない。大江川には生息している。いつまでも『この自然を守りたい』

改めて、考えると自然は人間でなく、動物・昆虫植物・微生物が、いろんな形で造っているように思う。

だから、この大江の山奥が好きで、自然を楽しみ暮らしている。



▲ メンバーの皆さん（右側：河村竝也さん）



定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

## 議会の傍聴をしてみませんか

一般質問は再放送しています

TEL 0858-72-3975 FAX 0858-72-2641(議会事務局)



八頭町議会

検索

### 編集後記

今年も、元号も新しく変わります。議会広報委員会の任期も残り少なくなり、今回を含め本メンバーでの発行は残り2回です。

委員会を振り返れば、委員長以下、全委員で取り組んだ結果、過去二ヶ月遅れの発行が、一ヶ月に短縮されて町民へ届けることが出来ました。

本定例会では、二件の議員への侮辱発言に対する処分要求が審議され、また、議長・副議長に対する不信任案が提出されたが、いずれも賛成少数で否決。異例ともいえる夜9時近くまで延会され混迷を極めました。

新しい年となり、議員一同、八頭町発展の為に取り組んでまいります。

(記：小原徹也)

#### 編集委員

- 委員長 奥田のぶよ
- 副委員長 小原 徹也
- 委員 川西 聡
- 委員 小林 久幸
- 委員 森 亜紀子
- 委員 中村 美鈴
- 委員 尾島 勲